

令和8年度前学期 社会人公開授業

科 目 名	法思想史 A
開設学校名	朝日大学
講 師	法学部法学科 教授 椎名 智彦（しいな ともひこ）
初回予定日	2026 年 4 月 13 日（月）
授 業 時 間	毎週月曜日 4 時限目 14 時 55 分～16 時 25 分（全 15 回）
主 会 場	朝日大学 穂積キャンパス 6 号館 5 階 6504 講義室
聴 講 方 法	対面授業 ディスカッション、ディベート、討議、I C Tを活用した双方向型授業
科 目 内 容	法思想史Aは、基礎法学の1つとして実定法を異なる角度から照らし出し、その理解を促進する役割をもつ。現代の法律や裁判例の基礎には、歴史的に受け継がれてきた正義や公正、平等や自由に関するアイデアが伏在している。また、良い裁判をめぐる考え方も、同様に長い歴史を経て発展してきたものである。それらは、過去の悲惨な事件や戦争、大規模な人権侵害への反省から導かれたものでもある。本講義では、それらの歴史と法をめぐる考え方のつながりを明らかにし、現代の法を見る目をより豊かなものとするを目的とする。 本講義は、西洋法思想が中心となるが、部分的に非西洋社会の伝統的な法思想にもふれる。 〔到達目標〕 さまざまな法思想がもつ独自の発想方法および背景を理解し、その具体的内容を説明できるようになる。また、法思想史の学習を通じて現代世界の法に関する理解を深め、その基礎にあるアイデアを正しく識別および応用できるようになる。
注 意 事 項	高校生は受講できません。 授業実施日については学年暦でご確認ください。 7月23日(木)は月曜日の14回目の授業を実施します。 テキスト：中山竜一・浅野有紀・松島裕一・近藤圭介『法思想史』(有斐閣 2019) ISBN：978-4-641-22133-8

授業の開催日程

回	日 付	講義テーマ
第 1 回	4 月 13 日	序論：法思想史を学ぶ意義
第 2 回	4 月 20 日	自然法論の新たな展開
第 3 回	4 月 27 日	啓蒙の法思想
第 4 回	5 月 11 日	ドイツ観念論と歴史法学
第 5 回	5 月 18 日	近代イギリスの法思想
第 6 回	5 月 25 日	アメリカ建国
第 7 回	6 月 1 日	ドイツ法学の展開
第 8 回	6 月 8 日	革命から 2 つの大戦へ①：ロシア革命、米国リアリズム法学
第 9 回	6 月 15 日	革命から 2 つの大戦へ②：ワイマール体制とドイツ法思想
第 10 回	6 月 22 日	戦後の法理論①：法と道徳は無関係か？

裏面につづく

第 11 回	6 月 29 日	戦後の法理論②：法秩序の成立条件としての道徳
第 12 回	7 月 6 日	現代法理論の展開
第 13 回	7 月 13 日	現代正義論の展開
第 14 回	7月23日(木)	グローバル化の中の法思想
第 15 回	7 月 27 日	西洋法中心主義から法多元主義へ